



1キロ粒剤
フロアブル
ジャンボ
400FG

光る除草力!
うれしい低コスト!



光る除草力! うれしい低コスト!



ノビエやSU抵抗性雑草(ホタルイ、オモダカ等)に加えて、
厄介な特殊雑草(イボクサ、クサネム、ヒメミノハギ等)対策にも!
すばやい効き目と、長い残効性で、キラリと光る除草力を発揮。
また、水稻への安全性が高く、田植同時処理*にも最適。
省力散布が可能な剤型も取り揃え、除草コストの削減にも貢献!
効き目だけでは満足できないあなたに、オススメします。

*ジャンボ剤、FG剤は移植直後処理

ノビエ



ホタルイ



コナギ



イボクサ



高効果 + 低コストの一発剤!

殺草スペクトラム

*フロアブルはヘラオモダカに対する登録はありません。

雑草名	ノビエ	カヤツリグサ	コナギ	その他広葉	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ*	ミスガヤツリ	ウリカワ	ヒルムシロ	クログワイ	オモダカ	セリ
有効成分 および薬剤名													
ピラクロニル	●	●	●	●	●	◎	●	○	◎	◎	◎	◎	×
イマズスルフロン	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
テフリルトリオン	○	●	●	●	◎	●	●	●	●	●	◎	◎	◎
キラリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

除草効果
 ●:極大
 ◎:大
 ○:中
 △:小
 ×:無

水稲用一発処理除草剤



1キロ粒剤
フロアブル
ジャンボ
400FG

ピラクロニル

【PPO阻害剤】

効果の発現が非常に速く、
ノビエ、SU抵抗性雑草など
幅広い雑草に高い効果。

テフリルトリオン

【4-HPPD阻害剤(白化剤)】

SU抵抗性を含むホタルイ、コナギ、
オモダカに高い効果。
イボクサ、クサネムなどの
特殊雑草にも有効。

イマズスルフロン

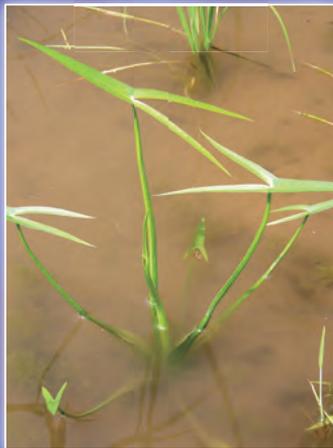
【ALS阻害剤】

難防除多年生雑草
(オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ等)
を始め、幅広い雑草に
高い効果。

ホンバヒメミンソハギ



オモダカ



クログワイ



クサネム

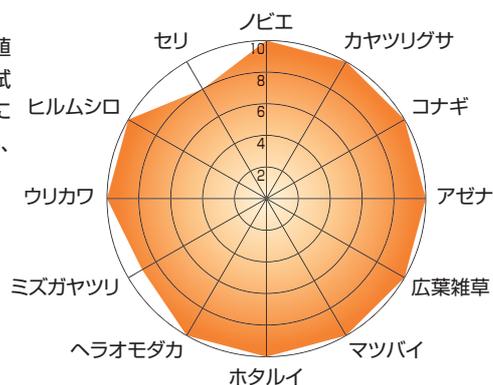


効き目だけでは満足できないあなたにオススメ!

■各草種に対する効果

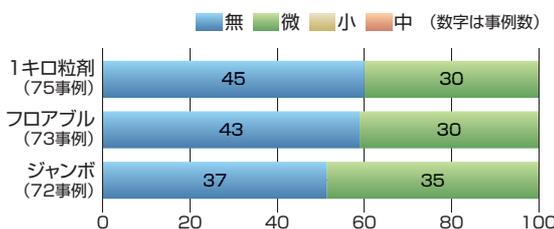
キラリの2017~2018年の日本植物調節剤研究協会(日植調)委託の試験データを、各種水田雑草の残草量に基づき下表の通りの点数付けを行い、レーダーチャートを作成しました。

残草量	点数
1%未満	10
1~2%未満	9
2~10%未満	8
10~20%未満	6
20~40%未満	4
40%~	0



■水稲に対する安全性

(2017~2018年日植調委託試験データまとめ 試験数220事例)

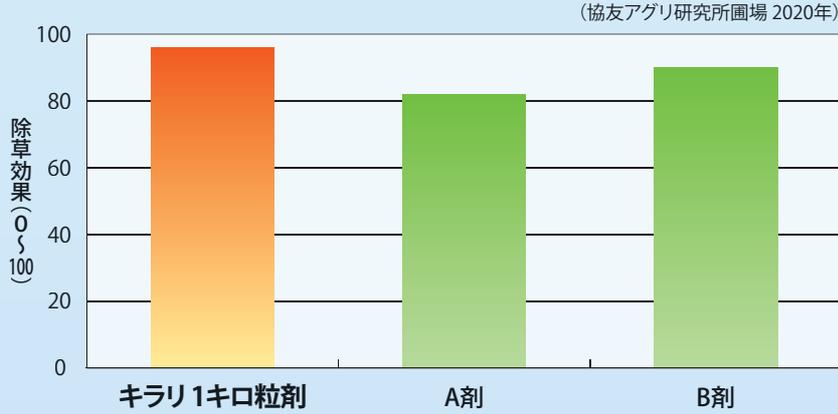


全事例で、薬害が無~微であり、
水稲に対する高い安全性が確認された。

ノビエ・クログワイにも、光る除草力!



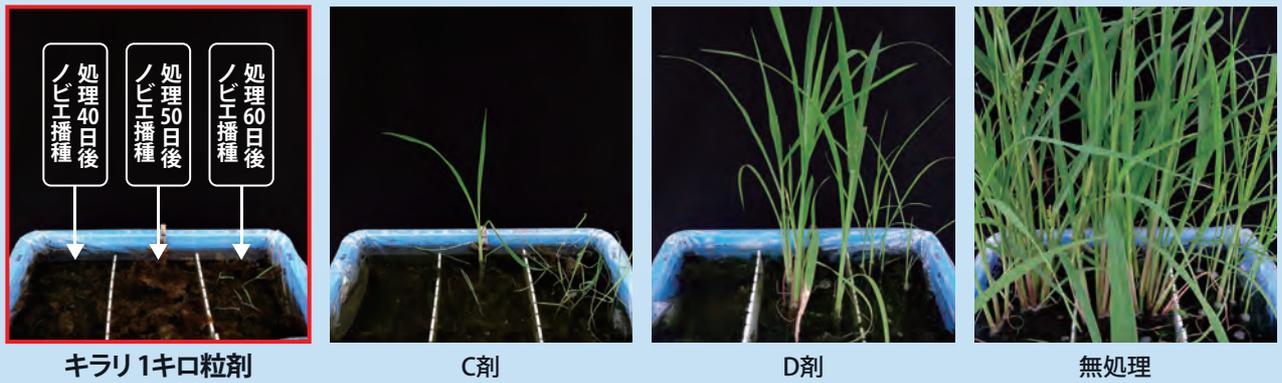
■ ノビエ2.5葉期に対する効果と持続性



供試薬量: 1kg/10a
 処理時期: ノビエ2.5葉期(6月15日)
 調査時期: 処理42日後
 除草効果: 0(効果無)~100(完全枯殺)

2.5葉期のノビエに対して高い効果を示し、長期間ノビエの発生を抑えた。

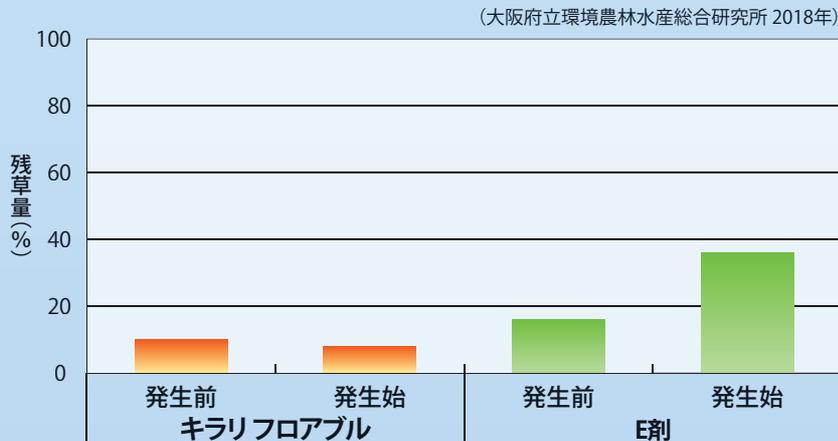
■ ノビエに対する残効



試験規模: コンテナ(232×133mm)
 供試薬量: 1kg/10a
 供試草種: タイヌビエ
 播種時期: 処理40日後、50日後、60日後
 調査時期: 処理90日後

ノビエに対して長期残効が認められた。

■ クログワイに対する効果



供試薬量: 500ml/10a
 処理時期: 発生前(6月22日)
 発生始(7月2日)
 調査時期: 発生前 処理40日後、
 発生始 処理30日後

E剤と比較してクログワイを強く抑制した。

☆☆ SU抵抗性雑草にも、光る除草力!



ホタルイ

オモダカ

■ SU抵抗性ホタルイ2葉期に対する効果

(協友アグリ研究所 2019年)



キラリ1キロ粒剤



F剤



G剤



無処理

SU抵抗性ホタルイに対して高い効果を示した。

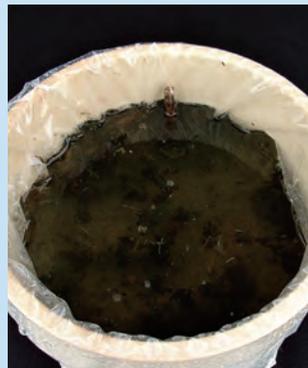
試験規模: 1/5000a
 供試薬量: 1kg/10a
 供試草種: SURホタルイ (Pro197変異)
 調査時期: 処理40日後

■ SU抵抗性ホタルイに対する残効

(協友アグリ研究所 2019年)



キラリ1キロ粒剤



H剤



無処理



各種ホタルイに対して、H剤と同等の長期残効を示した。

試験規模: 1/5000a
 供試薬量: 1kg/10a
 播種時期: 処理60日後
 調査時期: 播種90日後

■ SU抵抗性オモダカ発生始期に対する効果

(協友アグリ研究所 2019年)



キラリ1キロ粒剤



I剤



無処理

SU抵抗性オモダカに対して、I剤に優る高い効果を示した。

試験規模: 1/5000a
 供試薬量: 1kg/10a
 供試草種: SURオモダカ (Trp574変異)
 調査時期: 処理20日後

特殊雑草にも、光る除草力!



ホソバ
ヒメミノハギ



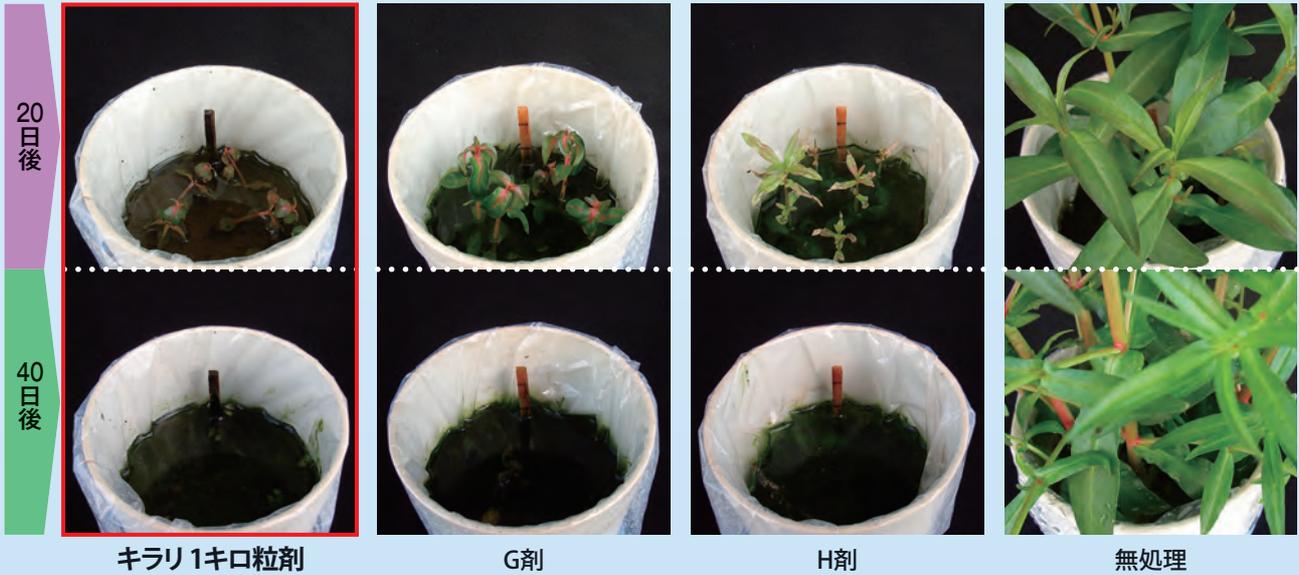
イボクサ



クサネム

■ ホソバヒメミノハギの3対期に対する効果

(協友アグリ研究所 2018年)



ホソバヒメミノハギに対して、速効的かつ高い効果を示した。

試験規模: 1/10000a
供試薬量: 1kg/10a
供試草種: ホソバヒメミノハギ

■ イボクサ(切断茎)に対する効果

(協友アグリ研究所 2018年)



イボクサに対してG剤に優る高い効果を示した。

試験規模: 1/5000a
供試薬量: 1kg/10a
供試草種: イボクサ(2節切断茎を埋め込み、5日後に処理)
調査時期: 処理40日後

参考 ピラクロニルのクサネムに対する残効

(協友アグリ研究所 2013年)

水管理: 代かき翌日に薬剤処理を実施。
播種まで湛水深3cmを維持。播種当日に排水し、
10日間で干し状態を維持した後、再度入水。

試験規模: 1/5000a 播種時期: 処理50日後
供試薬量: 20g/10a 調査時期: 処理80日後
供試草種: クサネム

クサネムに対して
長期残効を示した。

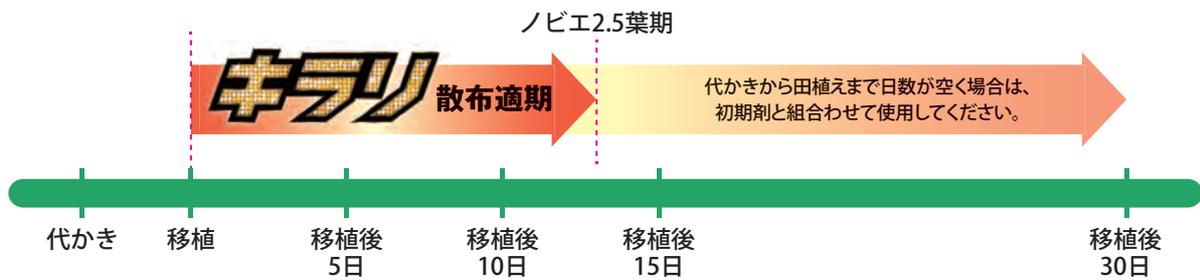


ピラクロニル (20g/10a)



無処理

■キラリの上手な使い方



多年生雑草は、発生期間が長期間に及ぶので、多発生圃場等では有効な後処理剤と合わせて使用してください。散布適期は地域により違いがあります。図の散布適期は平均的な日数となっています。

■使い勝手が良く、省力的な処理が可能



■簡単&省力! 話題の新製剤「FG剤*」

*FG剤とはFloating Granuleの頭文字をつなげた略語で、「自己拡散型浮遊粒剤」を意味します。

省力散布の実現に大きく貢献する、FG剤。その特長とメリットをご紹介します。

- FG剤は水面に浮きながら速やかに自己拡散する製剤です。
- 有効成分は風と圃場の水流により、圃場全体に拡がります。
- 1ha規模の大規模圃場でも、中に入って散布する必要はありません。
- 作業労力や散布時間を軽減する省力散布が可能です。
- 畦畔散布(湛水周縁散布)に加えて、多くのドローン機種で散布可能です。

動画はこちらから!



【畦畔散布】



【ドローン散布】 薬剤は一筆ごとに計量が必要です。



